

第3回 ICAT Young Lectureship Azuma Award 受賞者決定のお知らせ

触媒科学研究所では共同利用・共同研究拠点活動として、2006年より情報発信型国際シンポジウムを開催してまいりました。このシンポジウムは海外の触媒研究拠点において開催し、日本の優れた触媒関連研究の成果を広く国外に周知することを目的としております。特に若手触媒研究者が国際舞台で活躍することを支援する目的で、同シンポジウムにおける若手招待講演者を公募する取組を、触媒学会との共同企画（触媒学会協賛事業）として2018年度から開始しました。

前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の予防措置として2023年3月6日にオンラインで開催する運びとなりました。触媒学会を通して、若手招待講演者を公募して頂きましたところ、多数の優れた若手研究者からの応募を頂きました。同学会の企画・教育委員会における厳選なる審査を経まして、下記2名の方を触媒学会からご推薦いただきました。触媒科学計測共同研究拠点はこの2名の先生方に招待講演をお願いするとともに、ご講演当日、ICAT Young Lectureship Azuma Award（触媒科学研究所東記念若手講演賞）を授与して、そのご業績を永く後世に刻むことといたしました。

第3回 ICAT Young Lectureship Azuma Award（名字のアルファベット順）

Dr. HINOKUMA Satoshi 日隈 聡士 博士	Chief scientist (主任研究員)	National Institute of Advanced Industrial Science and Technology	産業技術総合研究 所
Dr. KITA Yusuke 喜多 祐介 博士	Assistant Professor (助教)	Institute of Innovative Research, Tokyo Institute of Technology	東京工業大学 科学 技術創成研究院

ICAT Young Lectureship Azuma Award（触媒科学研究所東記念若手講演賞）について

東市郎先生は北海道大学の免疫研究所で長年教授を勤められ、免疫研究所長、北海道大学副学長、函館高等専門学校校長を歴任されました。その間、触媒科学研究所の前身である触媒化学研究センターの第5代センター長（1994.4-1996.3）に就任され、触媒化学研究センターの基礎を築かれました。その後も長年運営委員として、触媒化学研究センターの運営に携わり、ご指導いただきました。この度、東先生からご寄付を賜りましたので、触媒科学研究所では基金を創設し、触媒学会から推薦された情報発信型国際シンポジウム若手招待講演者に ICAT Young Lectureship Azuma Award を授与することといたしました。